

様式1【申し込み事項】：【委員会、全協：共通様式】

〔議員氏名： 中村 等 〕

研修概要、内容、所感

令和5年8月28日・29日に広報好調常任委員会委員長を含む6名で、令和5年度町村会議広報クリニック・神奈川県開成町での委員会研修に参加しました。

初日、午前8時00北勢線にて出発し、初日の研修先である全国町村議員会館に電車を乗り継ぎ向かいました。

研修は全国町村議員会館で文章コンサルティングファーム未来交創代表取締役前田 安正氏の講義を受けあと、他市町のクリニックを傍聴しました。

講義は文章の書き方『起承転結』の重要性や、書き手が自分自身または自分自身を含む仲間をさす「わたくし」「わたくしたち」「ぼく」「ぼくら」「われ」「われわれ」など一人称の使い方、助詞の使い方などを研修しました。

研修2日目の29日には、神奈川県開成町での委員会研修、開成町役場庁舎にて開成町議会議長 山本研一氏の挨拶のあと議会広報活動について説明を受けました。

とにかく広報する議員の熱意は素晴らしい参考になりました。

さすが広報誌が全国クリニックで1位になる町だと感心もしました。

ただし、広報のやり方が紙媒体だけでなくウェイブの発信を行っており費用がすさまじく掛かっている、議員の立場だけ考えればすばらしい取り組みだと考えるが、住民から見れば『費用対効果は？』と考えさせられる事であった。

また町民の反応アンケート等は行われておらず今後調査していくとのことで結果を期待しています。